

事務事業名	コード1	15000	出産祝金支給事業	課	子育て支援課			
	コード2			所属班	子育て支援班			
				電話番号	62-8012	内線	166	
施策体系	基本方針	3	健やかでやすらぎのあるまちづくり	予算科目	会計		款	項
	施策	3	児童福祉・子育て支援の充実	根拠法令	一般会計		3	3
	施策の展開	1	子育て支援体制の充実					1
	基本事業	138	出産祝金支給事業		旭市出産祝金支給条例		旭市出産祝金支給条例施行規則	

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 10 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述→	○出産祝金・・・1年以上前から旭市に継続して住民登録を有しかつ現に居住している者で、第2子以上を養育し、第3子以降を出産して養育する父母に対し祝金20万円を支給する。 ○入学祝金・・・出産祝金を支給した人を対象に5万円を支給。平成24年度廃止したが、経過措置により平成30年度まで継続 【業務の流れ】 申請書記入→受付→月毎に税務課と保育班に税及び保育料の滞納調査依頼→交付(却下)決定→支給決定(却下)通知→支給(入学祝金は、対象者に2月頃通知を送付し申請に来てもらう。その後の事務は上記に同じ)

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(25年度の実績)	単位:千円
1.負担金補助及び交付金	0
2.第3子出産祝金	16,400 200,000円×82件
3.第3子入学祝金	3,300 50,000円×66件
	0
	0
【前年度比増減理由】支給対象者の増(H24から出産祝金増額)	
② 延べ業務時間の内訳(25年度の実績)	単位:時間
4月支給 52時間(受付1時間/日 入力16時間/月 通知発送8時間/月 振込準備8時間/月)	
他月支給110時間(受付6時間/月 入力2時間/月 通知発送1時間/月 振込準備1時間/月)	

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	
事業費	費目内訳	1. 負担金補助及び交付金	千円	0	0	0	0
		2. 第3子出産祝金	千円	7,400	14,600	16,400	17,000
		3. 第3子入学祝金	千円	3,500	2,250	3,300	3,450
			千円	0	0	0	0
			千円	0	0	0	0
	事業費計 (A)	千円	10,900	16,850	19,700	20,450	
		うち一般財源	千円	10,900	16,850	19,700	20,450
	人件費	正規職員従事人数	人	0.08	0.08	0.08	0.08
		延べ業務時間	時間	162	162	162	162
		人件費計 (B)	千円	616	616	616	616
トータルコスト(A)+(B)		千円	11,516	17,466	20,316	21,066	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
	25年度実績(25年度に行った主な活動) 第3子出産祝金の支給 第3子入学祝金の支給	ア 第3子出産祝金	件	74	78	82	85
目的	26年度計画(26年度に計画している主な活動) 第3子出産祝金の支給 第3子入学祝金の支給	イ 第3子入学祝金	件	70	45	66	69
		ウ					
上位目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
	第3子以降を出産して養育する父母	ア 第3子出産祝金	件	74	78	82	85
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
	第3子以降の出産を奨励祝福し、多子世帯の増加を目指す。	ア 第3子出産祝金	千円	7,400	14,600	16,400	17,000
		イ 第3子入学祝金	千円	3,500	2,250	3,300	3,450
		()					
	④ さらに、どんな上位目的に結び付けられるのか	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
	子育て支援体制の充実を図り、少子化対策に資する。	ア 出生数	人	519	542	496	500
		()					
		イ 児童福祉・子育て支援の充実に対する満足度後期基本計画(P61)	%	H22 39.0	-	-	-

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か？どんな経緯で始まったか？	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか？	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
合併前の旧干潟町で創設された事業を合併後も継続した。	当初、出産祝金100,000円、入学祝金50,000円であったが、平成24年度から出産祝金を200,000円とし、入学祝金を廃止した。(但し、経過措置により平成30年度まで継続)	第3子以降の出産祝金に喜びの声がある。

事務事業名	出産祝金支給事業	課名	子育て支援課	班名	子育て支援班
-------	----------	----	--------	----	--------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 祝金の支給により第3子以上の出産を奨励祝福してすることは、少子化対策に資することであり、子育て支援体制の充実につながる。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 人口減少に伴う少子化対策として多子世帯の増加を目指す事業であり、人口減少を防ぐ対策としては第3子以上の出生が重要であるため、対象、意図ともに適切である。平成24年度に、出産祝金を増額し入学祝金を廃止(経過措置あり)する見直しを行っており、当面現行のまが妥当である。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 人口減少に伴う少子化対策は、行政として重要な課題であり、子どもを生み育てやすい環境を整えることが必要のため、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 近隣市等では事業の実施をしていないので、支給額の比較はできないが、第3子の出生数が増加している。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？成果の向上余地はどの程度あるか？	☐ 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 ☒ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 子ども医療費助成事業・乳幼児紙おむつ給付事業など、他の事業と組み合わせることによって、旭市の子育て支援がより充実する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある (1) 事務事業名：(子ども医療費助成事業、乳幼児紙おむつ給付事業) (2) ☐ 統廃合ができる ⇒【理由】 ☒ 連携ができる ⇒【理由】 ☐ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 同様の事業はないが、他の子育て支援の事業と組み合わせて、旭市が子育てしやすいまちであることをPRすることで成果は向上する。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費は出産等祝金のみであり、削減の余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 正規職員で実施しており、臨時職員や委託するほどの件数ではない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 第3子以降を出産した、すべての子育て家庭を対象としていることから、公平・公正である。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1)1次評価者としての評価結果			(2)全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	少子化が進むなか、出産等を奨励、祝福して祝金を支給することは、総合計画における子育て支援体制の充実を図ることの一つとして寄与している。
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)		※2～3年後を目処にした方向性			(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																								
☐ 目的再設定	☐ 行政関与の見直し	☒ 事業統廃合・連携(関連事業: 子ども医療費助成事業、乳幼児紙おむつ給付事業)			<table border="1"><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
											コスト																		
									削減	維持	増加																		
成果	向上									○																			
	維持																												
	低下																												
☒ 事業のやり方改善による成果向上																													
☐ 事業のやり方改善による事業費削減	☐ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減																												
☐ 受益機会の適正化	☐ 費用負担の適正化																												
☐ 廃止・休止																													
(2) 改革改善案について				※いつまでに、なにを、どうするのか？																									
いつまでに		なにを、どうするのか？																											
平成27年2月		他の子育て支援策と併せて市の子育て支援が充実していることをホームページ等で市内外へPRし、少子化対策に資する。																											
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																													
平成24年度に祝金額を見直ししており、状況の把握に努める。																													